

病院情報システムを用いた看護師の業務量分析

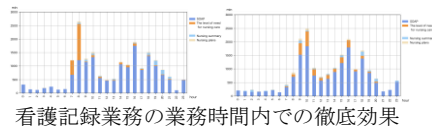
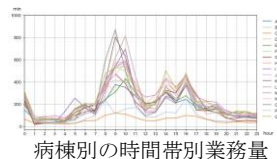
情報科学研究科/社会情報科学部 竹村 匡正

キーワード

看護業務 タイムスタディ 病院情報システム

研究概要

病院情報システムが導入され、またモバイル端末等が普及することで、多くの看護業務が診療オーダー、看護オーダー、指示オーダー等で把握できるようになりつつあります。また、端末へのログイン時間等を利用することで、看護記録等の間接業務の把握可能です。よって、本研究では、兵庫県立尼崎総合医療センターにおける一般病棟(17病棟)の一年間のすべての関連オーダーデータ(423万件あまり、延べ患者数30000人あまり)に対して、各業務の時間マスタを設定して各病棟の業務分析を行いました。また、看護必要度データの入力時間の変更など、タイムシフティングの効果を検証しました。



アピールポイント

病院情報システムのデータの現実的な二次利用環境を構築し、データ分析を行うことが可能になりました。特にタイムシフティングの効果等が明示的に示され、エビデンスに基づく看護業務管理が可能になりました。

応用分野

病棟における客観的な業務量の把握が可能になりますので、タスクシフティングやタイムシフト、またヘルプ要員の検討など、看護業務の質の向上に寄与するとともに、医療従事者の働き方改革に繋げることが期待できます。